

臨床腫瘍セミナー

「東京医科大学病院の口腔ケアシステム 運用状況と課題について」

10月15日 (火) 18時~19時

東京医科大学病院

摂食・嚥下障害看護認定看護師



宮崎留美子先生

<講演内容>

口腔ケアは患者の健康の維持と向上に重要なケアである。さらに、口腔ケアは頭頸部進行癌における再建術の術後合併症率を減少させ、化学療法に伴う歯性感染症や口内炎予防にも有効であるなど、口腔ケアの効用が多く報告されている。がん治療の過程において、口腔粘膜炎は出現頻度の高く避けがたい合併症の一つである。口腔粘膜炎の発症が避けられないとしても、予防により感染症の発症を抑えて、重症の口腔粘膜疾患を減少させることが重要である。

当病院では、EilersのOral Assessment Guideを用いる口腔アセスメントツールに加え、病態別口腔ケアプロトコルから患者に合わせたケアを選択する口腔ケアシステムを構築した。現在はがん治療開始前から口腔ケアの介入ができるよう、外来での取り組みの強化を開始している。現在の口腔ケアシステム運用の現状と課題について報告する。

- ◆がん治療に携わる医師及びメディカルスタッフを対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆本セミナーは「東北がんプロフェッショナル養成推進プラン」事業の一環となっております。
- ◆本学大学院生は、大学院授業要項で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。

<問い合わせ先> 福島県立医科大学附属病院 臨床腫瘍センター
がんプロフェッショナル養成支援室

TEL: 024-547-1806 (内5112) mail: yamadaa@fmu.ac.jp

後援: ティーアンドケー株式会社

